

構造委員会「小委員会・ワーキンググループ委員」公募

構造委員会では、下記の小委員会・WG委員を公募します。参加を希望される会員は募集要領に従い
ふるってご応募ください。

■募集要領

下記(1)(2)を任意のA4判(ファイル名は名字のローマ字つづりとする)に明記のうえ、E-mailにてご
提出ください。なお、E-mailの件名は「〇〇〇委員応募」としてください。

(1) 希望の小委員会・WG名

(2) 応募者について

- ① 会員番号、氏名、年齢、所属・職位、連絡先住所、同電話、E-mailアドレス、専門分野
- ② 現在、本会で所属している委員会の有無、応募中の委員会の有無(有の場合は委員会名を記すこと)
- ③ 希望委員会で果たせる役割
- ④ 希望委員会に関連する業績

委員任期 承認日～2019年3月

応募締切 2017年4月14日(金)必着

採否 委員会で決定のうえ本人に通知します。

提出先 日本建築学会事務局事業グループ 中村 E-mail: nakamura@aij.or.jp

●荷重運営委員会

1. 各種建築材料重量の実状調査WG [固定・積載荷重小委員会]

主査/幹事 : 主査 太田博章(竹中工務店)
幹事 菊地岳史(松田平田設計)

募集人数 : 2～4名

設置期間 : 2017年4月～2019年3月

活動目的 : 新たな建築・設備材料の利用が進んでいるなか、それら各種建築材料の実重量や組合せ重量の統計値を調査し、設計資料としてまとめることが本WGの目的です。特に仕上げ材料、または設備に詳しい専門家の参加を希望します。

●振動運営委員会

2. 大振幅予測地震動小委員会

主査/幹事 : 主査 土肥 博(NTTファシリティーズ)
幹事 石原 直(建築研究所)・西澤崇雄(日建設計)

募集人数 : 1名

設置期間 : 2017年4月～2021年3月

活動目的 : 南海トラフや相模トラフの巨大地震で想定される大振幅地震動に対し、地震動の大きさを評価できる地震動指標と建物の終局耐震性能を評価できる応答指標の関連性を解明し、従来の耐震設計法の見直しを検討する。

3. 相模トラフ地震WG [大振幅予測地震動小委員会]

主査/幹事 : 主査 岡野 創(千葉大学)
幹事 宮腰淳一(清水建設)・引田智樹(鹿島建設)

募集人数 : 1名

設置期間 : 2017年4月～2019年3月

活動目的 : 所属小委員会では、基準法に定められた設計用地震動を大きく超える地震動に対する

設計法の検討を行ってきた。本WGは、首都圏への影響が大きい相模トラフの地震を対象として、地震動作成、設計法の試行等を行う。

4. 免震構造小委員会

主査／幹事：主査 小林正人（明治大学）
幹事 近藤明洋（鹿島建設）・濱口弘樹（竹中工務店）

募集人数：1名

設置期間：2017年4月～2021年3月

活動目的：近年、免震構造には長周期長時間地震動や震源近傍の大振幅地震動への対応が求められている。最新の研究成果を整理し、対応の考え方をとりまとめることで、免震構造の健全な普及に資する情報を社会に提示する。

5. 構造物の振動制御小委員会

主査／幹事：主査 山本雅史（竹中工務店）
幹事 古橋 剛（日本大学）・栗野治彦（鹿島建設）

募集人数：1名

設置期間：2017年4月～2021年3月

活動目的：建築構造物の振動制御技術を健全に普及させ、国民の安全安心に貢献するため、本技術に関わる専門家による小委員会を設置し、検討する。特に、国内外に対する技術の発信および意見の収集を活動の目的とする。

6. 建物健全性モニタリング小委員会

主査／幹事：主査 佐藤貢一（大成建設）
幹事 曾根孝行（竹中工務店）・肥田剛典（東京大学）

募集人数：2名

設置期間：2017年4月～2021年3月

活動目的：地震後、建物の利用者に対し、建物の健全性（構造体の損傷、免震・制振機能や室内被害状況）を迅速に通知することを目的に、この健全性評価に必要なモニタリング技術体系について調査研究を行う。

●壁式構造運営委員会

7. 鉄筋コンクリート組積造試設計WG [鉄筋コンクリート組積造設計・計算規準検討小委員会]

主査／幹事：主査 岡部喜裕（力体工房）
幹事 時田伸二（都市再生機構）

募集人数：2～3名

設置期間：2017年4月～2019年3月

活動目的：本WGにおいては、現在作成中の『鉄筋コンクリート組積造設計・計算規準・同解説』に基づき建物の試設計を行い、課題を整理したうえで、規準本文・解説に反映すべき項目を整理することを目的としている。

8. 壁式RC構造解析モデルWG [壁式鉄筋コンクリート造設計・計算規準小委員会]

主査／幹事：主査 井上芳生（INO建築構造研究室）
幹事 秋山裕紀（都市再生機構）

募集人数：2～3名

設置期間：2017年4月～2019年3月

活動目的：本WGにおいては、壁式RC造建物の応力・変形解析ならびに保有水平耐力計算を立体解析により行う場合の課題を検討することとし、FEM解析結果との比較により立体解析モデルによる場合の留意点を検討する。